

2023 年度（第 1 回）司法支援建築会議運営委員会 議事録

（記録：事務局）

日 時：2023年6月26日（月）14:00～16:00

場 所：建築学会会議室およびオンライン

出席者：委員長 緑川光正

委 員 井上勝夫、宇於崎勝也、大森文彦、奥山信一、加藤幸治、荻谷邦彦、
小坂 郁夫、鈴木秀三、橋本真一、早川光敬、羽山広文、横山 裕、
吉野 博

（敬称略）

提出資料

- 資料1 前回運営委員会議事録（案）（2月14日）
- 資料2 会報第22号企画案
- 資料3 「2023年司法支援建築会議全体会議シンポジウム」プログラム
- 資料4 「第12回建築紛争フォーラム」告知概要
- 資料5 「第23回司法支援建築会議講演会」企画案
- 資料6 「司法支援建築会議講演」テーマ一覧
- 資料7 2022年度支部活動報告
- 資料8 「2023年司法支援建築会議全体会議シンポジウム」実施報告書
- 資料9 「第23回司法支援建築会議講演会」実施計画書
- 資料10 会議会員 退会・逝去

確認事項

1. 前回議事録(案)(2月14日)の確認

事務局から前回議事録（案）の確認がありました承された。

報告事項

1. 最高裁建築関係訴訟委員会報告

緑川委員長より、支援部会で取りまとめた鑑定料算定の参考資料を審議し、「鑑定料の検討に当たり考慮することが考えられる要素」として各地裁へ周知される予定であるとの報告がなされた。

2. 部会報告

〈第20回建築関係訴訟委員会（最高裁）〉

緑川委員長より、支援部会で取りまとめた鑑定料算定の参考資料を審議し、「鑑定料の検討に当たり考慮することが考えられる要素」として各地裁へ周知される予定であるとの説明がなされた。なお、標記委員会の議事要旨は会報22号へ掲載予定。

〈支援部会〉

鈴木部会長より、次の報告がなされた。

- ① 5月29日に最高裁建築関係訴訟委員会事務局より、富山地裁の鑑定人候補者推薦依頼があり、依頼裁判所最近の支部にお願いするという方針に従い、加藤東海支部運営委員長に依頼をし、岡部功氏（昭和設計）を推薦いただき、支援部会にて承認。
- ② 同様に、釧路地方裁判所帯広支部の専門委員候補者推薦依頼があり、羽山北海道支部運営委員長に依頼。推薦にあたっての希望が当初の「産業廃棄物処理施設の建設に関する設計・監理のご経験がある方」から「産業廃棄物処理施設の建設に関する設計・監理のご経験がある方又は知見が豊富な方」へと変更されたが、該当者なし、との回答をいただいた。締切（7月21日）まで時間があるので、現在、関東地区で検討中。推薦希望に沿う会員が多くないので、場合によっては該当者なしとなる可能性がある。

〈調査研究部会〉

荻谷部会長より、次の報告がなされた。

- ① 2022年度判決書分析結果報告書4件を東京地裁のチェック方針に従い8月17日までにとりまとめ、東京地裁にチェックを依頼する予定。有償で閲覧できる判決結果を記した記事のなかには、具体的な固有名詞や金額が記されているものがあるが、学会への公開条件は厳しいので、交渉の余地がある。
- ② 貸与済みの2023年度分析用4件のうち、6月15日に1件の分析結果を報告済み。

〈普及・交流部会〉

井上部会長より、次の報告がなされた。

- ① 「会報第22号」：原稿はほとんどが提出済みで、予定通り8月に刊行予定。
- ② 「2023年全体会議シンポジウム」：滞りなく実施。
- ③ 「第12回建築紛争フォーラム（近畿）」：『建築雑誌』6月号会告にて周知済み。小坂近畿支部運営委員長より、裁判所にも確認したが、京都という地域の特異性を示す事例がなく、二度会議を開き、「現状と課題」としたとの報告がなされた。また、司法会員に講演をお願いしているが、いつも同じメンバーになってしまうとの課題が示された。
→ 本部の全体会議シンポジウム・フォーラム・講演会では、テーマ選びや講師の人選は部会委員が行うが、講師は司法会員や部会委員でなく、その分野の専門家に依頼をしている。
- ④ 「第23回司法支援建築会議講演会」：建築技術と建築紛争の関係と対応と題し、防火・耐火を中心に講演いただく予定。

3. 支部報告

〈北海道支部〉

羽山運営委員長より、2022年度活動状況（建築関係訴訟連絡協議会1回、建築紛争フォーラム1回、支部運営委員会3回、フォーラム打合せ10回）、2023年度の体制、および新任調停委員の任用状況の報告がなされた。

〈東北支部〉

吉野運営委員長より、2022年度活動状況（講演会1回、運営委員会2回）の報告がなされた。

〈東海支部〉

加藤運営委員長より、2022年度活動状況（建築関係協議会1回、打合せ会4回）の報告がなされた。

〈近畿支部〉

小坂運営委員長より、2022年度活動状況（支部運営委員会2回）の報告がなされた。

- ・支部運営委員会顧問の鈴木計夫先生 享年89歳にて永眠
- ・運営委員の後継者育成が急務で、将来の幹事を運営委員に任命し、講演会等に積極的に参加いただき、将来の活動の糧にしてもらいたい。そのため、運営委員の参加費を無料にしてほしい。

審議事項

1. 実施報告書「2023年全体会議シンポジウム」について

事務局より、標記実施報告書について報告があり、了承された。7月の能力開発事業委員会へ提出。

- ・参加者：107名（会員75名、会員外32名）

2. 実施計画書「第23回司法支援建築会議講演会」について

事務局より、標記実施計画書について報告があり、了承された。7月の能力開発支援事業委員会へ提出。

- ・収入26万円、支出26万円（間接経費：92,400円含む）

3. 2024年度建築紛争フォーラムのテーマ案について

井上部会長より、標記フォーラムを、東京大会に合わせて開催し、関東に特徴あるテーマとして「超高層建築に関する建築紛争」（事前防止策含む）としてはどうかとの説明がなされ、了承された。

- ・ヒートアイランド現象
- ・エレベーター、ごみ収集、自然災害
- ・風害はシミュレーションで解決している傾向がある。
- ・他のテーマとしては、地域住民や環境問題が絡む「再開発問題」も考えられる。

4. 普及・交流部会への近畿支部運営委員の参加について

小坂近畿支部運営委員長より、次の要望が出され、次回までに事務局で整理することとなった。

- ① フォーラムの企画から実施後の報告までの間、1年程度、西邦弘近畿支部運営委員がオブザーバーとして参加しているが、1年だけだと過去のフォーラムの問題点等を共有で

きない。近畿支部運営委員を当部会に正式に加えてほしい。

- ・数年に一度しかまわってこないのに、1年では短いのであれば、もう少し前から参加すればよい。（緑川運営委員長）
- ・実施の1年前から当部会に参加したが、大凡のことは把握できた。過去の報告記事は『建築雑誌』に載っているのので、事務局に言えばPDFでもらえるはず。（羽山北海道支部運営委員長）

5. 司法支援建築会議講演会の参加費について

小坂近畿支部運営委員長より、次の要望が出され、次回までに事務局で整理することとなった。

- ① すべての司法会員の参加費を無料化することが難しいことは理解したが、これから講演会を企画したり講師を務めることになる後継者に、有料の講演会に参加してください、とはお願いしづらいため、支部の司法会員だけでも無料にしてほしい。
- ② 「会議の会員は原則として私的鑑定人になることはできない」と運営規程にあるため、近畿支部で企業の方に入会を働きかけても、会社で訴訟になった際に前面に出て戦ってもらわなくてはいけないとの理由で、企業の方に入会してもらえず、設計事務所等の個人事業主が多数。企業ならば講演会参加費を会社で賄うこともできるが、個人事業主だと厳しい。

- ・関東地区の会員には大手ゼネコンに所属している方もいるので、必ずしも私的鑑定人云々が影響しているわけではないのではないか。（事務局）
- ・司法支援関係ではないが、会場が何カ所かに分かれる本部主催講習会では、慣れない講師が他の会場で参加してから自身の講義に臨むケースがあり、その際は特例で参加費を無料としている。
このケースを解釈変更し、近畿支部で後継者を育てるため、という名目であれば、新運営委員に限り無料ということも考えられる。（事務局）

6. 本部との連携について

小坂近畿支部運営委員長より、次の意見が出され、次回までに事務局で整理することとなった。

- ・フォーラムの内容はすべて近畿支部で決めていて自由度はあるが、本部の情報を誰も把握していない。もっと基本的に密接に連携した方がよい。

7. 会議会員の退会

退会の申し入れがあり、次の15名の退会を承認した。

北海道地区 : 塚田芳久 (敬称略)
 十河哲也
東北地区 : 内海康雄

土井儀憲
関東地区 : 稲垣道子 (逝去)
大澤元毅
片岡省三
神田 孜
高橋 勝
内藤龍夫 (逝去)
北陸地区 : 稲葉 実 (逝去)
東海地区 : 橋田 浩
近畿地区 : 勝丸文彦 (逝去)
鈴木計夫 (逝去)
九州地区 : 山川哲雄

次回 : 日程調整の結果、 2023年11月10日 (金) 14:00-16:00

以上